

2022年度版

環境経営レポート

運用期間（2022年7月1日～2023年6月30日）



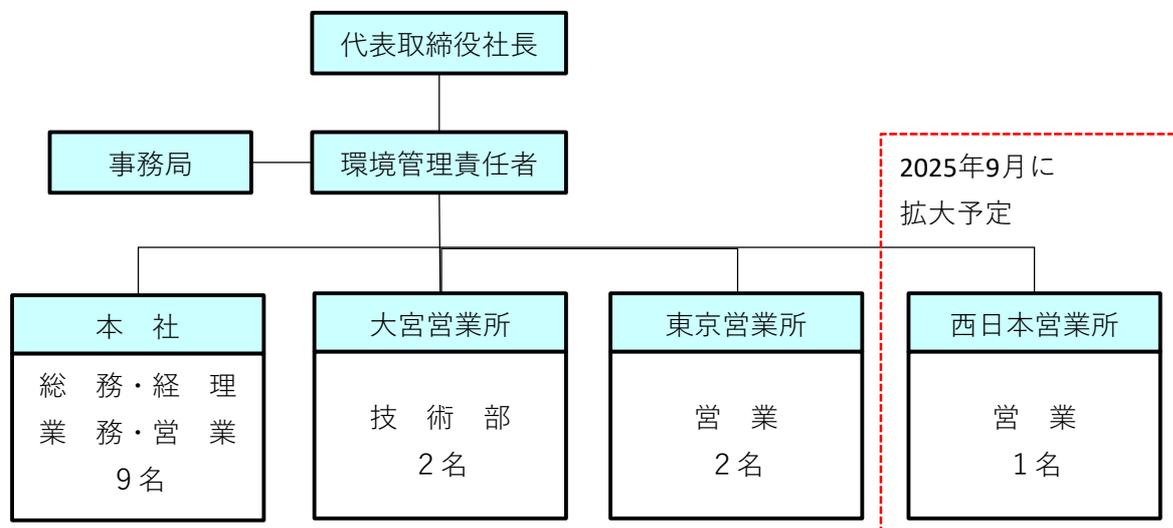
株式会社 インター電子部品

2023年8月1日発行

1. 事業の概要

- (1) 会社名 株式会社インター電子部品
- (2) 代表者名 代表取締役社長 久保龍也
- (3) 所在地 本社 〒320-0851 栃木県宇都宮市鶴田町1610-16
- (4) 事業所
 - 本社 〒320-0851 栃木県宇都宮市鶴田町1610-16
 - 大宮営業所 〒330-0855 埼玉県さいたま市大宮区上小町603-1
新横溝ビル2F-201
 - 東京営業所 〒101-0043 東京都千代田区神田富山町28番地 田澤神田ビル2階
 - 西日本営業所 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原1-1-1 新大阪阪急ビル3-325
- (5) 環境管理責任者 営業部 塩川貴士
- (6) 連絡先
 - 電話 028-648-6767
 - FAX 028-648-6490
 - E-mail t_shiokawa@inter-denshi.co.jp
- (7) 事業活動 半導体製品及び関連製品の設計開発と販売
- (8) 事業の規模 2022年度（2022年7月～2023年6月）
 - 資本金 3,000万円
 - 製品売上高 11.3億円（2022年度）
 - 従業員数 14名
 - 敷地面積 403.29㎡
- (9) 対象範囲
 - 事業所：本社、大宮営業所、東京営業所
 - 事業内容：半導体製品及び関連製品の設計開発と販売

2. 会社組織図



3. 環境方針

環境経営方針

当社は電子部品、及びそのシステムを販売する商社として事業活動において、地球環境問題の取組を社会的責務と認識し、環境負荷の低減、環境改善に貢献する商品の提案を重要課題として、環境経営システムを下記のように取り組んで行くことを宣言します。

- 1、環境経営システムを継続的に改善します。
- 2、環境関連法規、条例及び当社が同意した事項を遵守します。
- 3、次の項目を重点活動項目と定め、事業活動の環境負荷及び、当社製品サービスの利用者の環境負荷の低減を推奨します。
 - 電気 ガス 燃料等のエネルギー及び水の使用量を低減します。
 - 廃棄物の排出量を削減し、分別を徹底し、再資源化を推進します。
 - グリーン調達を推進します。
 - 省エネを達成する事を可能にする商品を社会に提案していきます。
- 4、環境方針を社員全員へ周知徹底の上、社員一人一人が責任を持って環境経営システムに取り組んでいきます。

制定日 2009年 2月 25日
株式会社 インター電子部品
代表取締役 久保 龍也

4. 環境目標

当社の環境目標は、本社・大宮営業所・東京営業所を区分して環境目標を設定した。環境目標は二酸化炭素排出量（電気使用量、ガソリン使用量）の削減、廃棄物排出量の削減、水使用量の削減、グリーン調達、省力化製品の拡販、環境に配慮した設計、BCP（事業継続計画）の構築・運用です。

目標項目				パートV			
				2020年度 (2020年7月～ 2021年6月) (基準値)	2021年度 (2021年7月～ 2022年6月) -1%	2022年度 (2022年7月～ 2023年6月) -2%	2023年度 (2023年7月～ 2024年6月) -3%
年度							
1、エネルギー使用量の削減 (2023年度までに、2020年度比で 3%削減する) ※東京営業所のみ基準を2021年度からとする。	電気使用量	kWh	本社	21,553	21,337	21,122	20,906
			大宮営業所	4,943	4,894	4,844	4,795
			東京営業所	3,187	3,187	3,155	3,123
			合計	29,683	29,418	29,121	28,824
	ガソリン使用料	L	本社	8,925	8,836	8,747	8,657
			大宮営業所	350	347	343	340
			東京営業所	517	517	512	507
			合計	9,792	9,699	9,601	9,503
2、二酸化炭素排出量の削減(2023 年度までに、2020年度比で3%削減す る) : CO2排出係数=0.451 ※東京営業所のみ基準を2021年度からとする。	電気使用量 ガソリン使用料	kg-CO2	本社	31,271	30,958	30,646	30,333
			大宮営業所	3,096	3,065	3,034	3,003
			東京営業所	2,606	2,606	2,580	2,554
			合計	36,973	36,629	36,260	35,890
3、廃棄物の排出量の削減(2023年 度までに、2020年度対比で3%削減す る) ※東京営業所のみ基準を2021年度からとする。	廃棄物	kg	本社	399	395	391	387
			大宮営業所	29	29	28	28
			東京営業所	18	18	18	18
			合計	446	442	437	433
4、水使用量の削減(2023年度まで に、2020年度対比で3%削減する) ※東京営業所のみ基準を2021年度からとする。	上水使用量	m ³	本社	70	69	69	68
			大宮営業所	30	30	29	29
			東京営業所	30	30	30	30
			合計	130	129	128	127
5、グリーン購入			本社	グリーン製 品の調達			▶
6、省力化製品の拡販			本社	製品拡販			▶
7、設計、開発(開発に配慮した設 計)			大宮営業所	省エネに対 応した部品			▶
8、BCP(事業継続計画)の構築と運 用			本社 大宮営業所 東京営業所	BCPの構 築・運用			▶

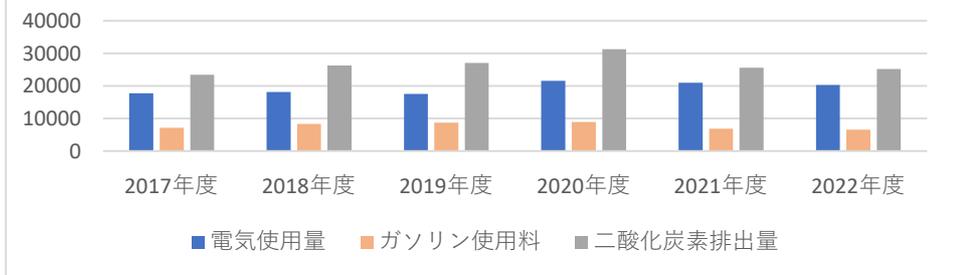
5. 活動の実績

年度 目標項目			サイト	環境目標達成状況				
				2020年度 (基準値)	(2022年7月～2023年6月)			
					2022年度目標と実績			
					目標 (A)	実績 (B)	目標との差異(B-A)	評価
1. エネルギー使用量の削減 (2022年度までに、2020年度対比で2%削減する) ※東京営業所のみ基準値を2021年度実績とする。	電気使用量	kWh	本社	21,553	21,122	20,307	-815	○
			大宮営業所	4,943	4,844	4,390	-454	○
			東京営業所	3,187	3,155	2,802	-353	○
			合計	29,683	29,121	27,499	-1,622	○
	ガソリン使用料	L	本社	8,925	8,747	6,631	-2,116	○
			大宮営業所	350	343	457	114	×
			東京営業所	517	512	820	308	×
			合計	9,792	9,601	7,908	-1,693	○
2. 二酸化炭素排出量の削減 (2022年度までに2020年度対比で2%削減する) ※東京営業所のみ基準値を2021年度実績とする。	電気使用量・ガソリン使用料	kg-CO2	本社	31,271	30,646	25,197	-5,449	○
			大宮営業所	3,096	3,034	3,040	6	△
			東京営業所	2,606	2,580	3,165	585	△
			合計	36,973	36,260	31,402	-4,858	○
3. 廃棄物の排出量の削減 (2022年度までに、2020年度対比で2%削減する) ※東京営業所のみ基準値を2021年度実績とする。	廃棄物	kg	本社	399	391	448	57	△
			大宮営業所	29	28	15	-13	○
			東京営業所	18	18	13	-5	○
			合計	446	437	476	39	△
4. 水使用量の削減 (2022年度までに、2020年度対比で2%削減する) ※東京営業所のみ基準値を2021年度実績とする。	上水使用量	m ³	本社	70	69	61	-8	○
			大宮営業所	30	29	25	-4	○
			東京営業所	30	30	30	0	○
			合計	130	128	116	-12	○
5. グリーン調達を推進する			本社	エコマーク品の購入	エコマーク品の購入	エコマーク品の購入	—	○
6. 省力化製品の拡販			本社	製品拡販	製品拡販	製品拡販	—	○
7. 設計・開発(環境に配慮した設計)			大宮営業所	省エネに対応した部品設計	省エネに対応した部品設計	省エネに対応した部品設計	—	○
8. BCP(事業継続計画)の構築と運用			本社 大宮営業所 東京営業所	BCP構築・運用	BCP構築・運用	BCP構築・運用	—	○

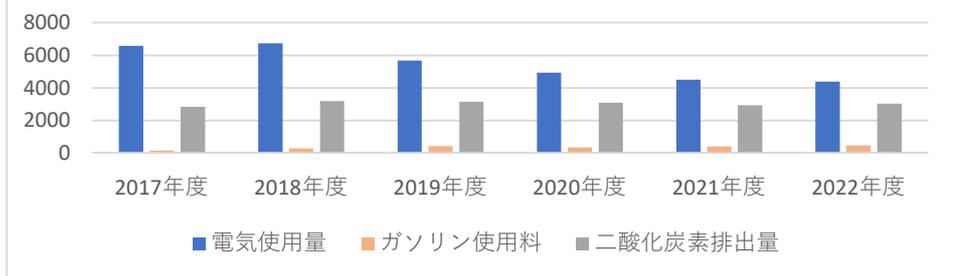
★目標達成度の評価基準 ○ : 100%以上 △ : 100%～80% × : 80%以下

6. 環境目標に対する実績推移

本 社						
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
電気使用量	17,784	18,131	17,602	21,553	20,971	20,307
ガソリン使用料	7,189	8,377	8,787	8,925	6,833	6,631
二酸化炭素排出量	23,461	26,309	27,054	31,271	25,574	25,197



大宮営業所						
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
電気使用量	6,581	6,736	5,681	4,943	4,504	4,390
ガソリン使用料	146	282	432	350	405	457
二酸化炭素排出量	2,827	3,181	3,150	3,096	2,925	3,040



東京営業所						
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
電気使用量					3,187	2,802
ガソリン使用料					517	820
二酸化炭素排出量					2,606	3,458



7. 主な活動計画の内容

(1) 二酸化炭素排出量の削減（電気使用量・ガソリン使用量）

1) 電気使用量の削減

- ① エアコンの温度管理（夏：28°C、冬：22°C）
・夏は、昼光を極力遮断し、冷房効果を高める。冬は、昼光を積極的に取り入れる。
- ② ウォームビズ、クールビズの推進
- ③ 人があまりいない場所の蛍光灯台数を減らす。空室・昼休み時の消灯の徹底
- ④ OA機器の節電対策（OA機器の節電モード）

2) ガソリン使用量の削減

- ① エコドライブ
- ② 走行ルートの最適化、不要な積荷をしない。

(2) 廃棄物の排出量の削減

- ① 廃コピー用紙の削減（裏紙の使用）
- ② 廃ダンボールの削減（梱包資材としての再利用）
- ③ 生活ゴミの削減
- ④ 新聞紙をクッション材として使用

(3) 水使用量の削減

- ① トイレの流水量の調整と節水に努める。
- ② 節水型トイレに変更

(4) グリーン調達（本社）

- ① グリーン製品の調達を増やしていく
- ② 購入品の製品含有化学物質の管理（RoHS指令）

(5) 省力化製品の拡販（本社）

- ① 省力化製品（IGBT、LED等の低損失半導体の拡販）の拡販

(6) 環境に配慮した部品選定、設計を考慮する。

(7) BCP（事業継続計画）の構築と運用

- ① 影響度調査レポート、リスク対策一覧表の作成と見直し。
- ② 防災マニュアル・業務継続マニュアル・災害復旧マニュアルの運用と改善
- ③ 事業継続計画書を作成し、BCPの構築を推進。
- ④ BCPの勉強会、防災訓練を実施する。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染防止対策の運用。

8. 環境活動の取組み結果・評価と次年度の計画

目標項目	年度		サイト	環境目標達成状況				取組結果の評価	次年度計画	
				2020年度 (基準値)	(2022年7月～2023年6月)					
					2022年度目標と実績	目標 (A)	実績 (B)			目標との差異(B-A)
1. エネルギー使用量の削減(2022年度までに、2020年度対比で1%削減する) ※東京営業所のみ基準値を2021年度実績とする。	電気使用量	kWh	本社	21,553	21,122	20,307	-815	○	【大宮・東京営業所】：経済活動に対する制限の緩和に伴い客先での打合せ等が増えてガソリン使用量及び二酸化炭素排出量が増加。	・節電活動消灯管理とエアコンの温度管理の継続 ・OA機器の節電モードの実施継続 ・エコドライブの推進
			大宮営業所	4,943	4,844	4,390	-454	○		
			東京営業所	3,187	3,155	2,802	-353	○		
			合計	29,683	29,121	27,499	-1,622	○		
	ガソリン使用料	L	本社	8,925	8,747	6,631	-2,116	○		
			大宮営業所	350	343	457	114	×		
			東京営業所	517	512	820	308	×		
			合計	9,792	9,601	7,908	-1,693	○		
2. 二酸化炭素排出量の削減(2022年度までに2020年度対比で1%削減する) ※東京営業所のみ基準値を2021年度実績とする。	電気使用量・ガソリン使用料	kg-CO2	本社	31,271	30,646	25,197	-5,449	○		
			大宮営業所	3,096	3,034	3,040	6	△		
			東京営業所	2,606	2,580	3,165	585	△		
			合計	36,973	36,260	31,402	-4,858	○		
3. 廃棄物の排出量の削減(2022年度までに、2020年度対比で1%削減する) ※東京営業所のみ基準値を2021年度実績とする。	廃棄物	kg	本社	399	391	448	57	△	購入資材、販売資材が増えて廃棄物排出量が増えてしまった。廃コピー用紙の活用と廃棄物の分別は継続して取り組む。	ダンボール、クッション資材の適正管理 カタログ、その他の紙類管理 廃コピー用紙の活用と廃棄物の分別管理の継続
			大宮営業所	29	28	15	-13	○		
			東京営業所	18	18	13	-5	○		
			合計	446	437	476	39	△		
4. 水使用量の削減(2022年度までに、2020年度対比で1%削減する) ※東京営業所のみ基準値を2021年度実績とする。	上水使用量	m³	本社	70	69	61	-8	○	・節水活動の徹底により各営業所ともに目標達成。	節水活動の継続
			大宮営業所	30	29	25	-4	○		
			東京営業所	30	30	30	0	○		
			合計	130	128	116	-12	○		
5. グリーン調達を推進する	件数	件	本社	エコマーク品の購入			—	○	グリーン調達品の購入促進	継続
6. 省力化製品の拡販			本社	製品拡販			—	○	販売活動	継続
7. 設計・開発(環境に配慮した設計)			大宮営業所	省エネに対応した部品設計			—	○	省エネ対応の設計・開発	継続
8. BCP(事業継続計画)の構築と運用			本社	BCP(事業継続計画)・新型コロナウイルス感染防止対策の構築運用			—	○	BCP(事業継続計画)・新型コロナウイルス感染防止対策の構築運用	継続
			大宮営業所							
			東京営業所							

★目標達成度の評価基準 ○:100%以上 △:100%~80% ×:80%以下

9. 2022年度環境経営目標

4. 環境目標を参照

10. 環境関連法規への違反、訴訟などの有無

- (1) 2023年7月14日に環境関連法規の遵守状況の確認・評価を行った結果、環境関連法規への違反はありませんでした。
また、関係当局よりの違反などの指摘は、過去4年間ありません。又、訴訟等もありません。
- (2) 同様に訴訟は一件もありません。

関連法規	要求事項			遵守状況
	対象サイト	設備・業務等	要求内容	
廃棄物の処理及び清掃に関する法規	本社 大宮営業所 東京営業所	一般廃棄物：廃紙類・その他の生活ごみ 産業廃棄物：廃棄する半導体製品及び関連製品	一般廃棄物処理業者の委託契約書 産業廃棄物の収集運搬・処理業者との委託契約書産業廃棄物管理票の管理	適合
浄化槽法	本社	町内会共同使用浄化槽	保守点検成績書（1回／年）	適合
リサイクル法（資源有効利用促進法）	本社 大宮営業所 東京営業所	パソコン、小型2次電池	廃棄時の管理	適合
家電リサイクル法	本社 大宮営業所 東京営業所	冷蔵庫・エアコン	廃棄時の電気店引き渡しの管理	適合
自転車リサイクル法	本社 大宮営業所 東京営業所	業務用社用車	買い替え時の自動車業者引き渡し管理	適合
フロン排出抑制法	本社	業務用エアコン ダイキン 圧縮機定格出力：2.6KW パナソニック 圧縮機定格出力： 3.75KW	簡易点検（3ヶ月毎）	適合
顧客その他要求事項	本社	製品含有化学物質管理	ROHS適合品	適合

11. 環境整備と地域との共存

- (1) 環境美化の一環として社屋周囲の除草、清掃を実施
- (2) 降雪時に社屋周辺道路の雪かき実施

12. 代表者による全体評価と見直し

- 1、環境経営方針、環境経営目標 経営計画 実施体制については変更の必要はない。
- 2、電気使用量の削減は、節電啓蒙活動を継続して実施する。
- 3、環境目標は年々厳しくなっているが省エネ、節電活動への従業員の参画をさらに推進する
- 4、新型コロナウイルスの影響で、社会経済が低迷しているが営業活動と開発設計は営業力と技術力で更なる成果を期待している。
- 5、環境整備、地域との共存を意識し環境美化を推進する。
- 6、新型コロナウイルス感染症にも対応したBCPを策定し運用する。

以上